

「少年の主張」弟子屈大会

平成25年度第33回「少年の主張」弟子屈大会が5月26日に弟子屈町公民館で開催され町内各小中学校の児童生徒の代表が、目で見えて感じたことや体験して思ったことなどを、会場に訪れた多くの方々語りかけました。最優秀賞には小学生の部で坂上 愛美さん(弟子屈小学校6年)、中学生の部で濱岡 日菜さん(川湯中学校3年)が、それぞれ選ばれました。中学生の部最優秀賞の濱岡さんは7月30日に釧路市生涯学習センターで開催される「少年の主張釧路総合振興局地区大会」に出場します。

中学生の部 最優秀賞



互いに生きる
川湯中学校3年
濱岡 日菜さん

やってみせて、言ってみせて、やらせてみる。話を聞いて、話をかたむけ、承認し、任せやらねば、人は育たず。頼せねば、人は育たず。人は一人では生きていけない。私は強くそう思います。とあるいつかのテレビ番組で、一人の祖父を亡くし、非行に走ってしまった、という内容のドラマが放送されていました。その祖父とは、寂しい気持ちを抱いている少年を支える唯一の存在でした。結果は学校の先生が気持ちを理解して、その少年を非行に走らせず救い出すことができました。私はこの話が人ごとではないと思いつつ、私には「孤独死」「自殺」、これも人ごとではないのです。

これら全てに関係するのは「一人」ということです。一人だから心のよりどころがないため非行に走った。一人だから誰にも看とられずひっそりと死んでいってしまった。一人だから自分を追いつめ

気持ちはわいてきたのです。だんだん期待されていくうちに励ましてくれる人が増えて、良い結果を残せていけるようになりました。期待をされるとまず一人ではなく、自分を認めてくれる人がいるという実感をもてます。この期待への励ましを受けると応援されているから頑張ろう。期待に答えてみようという気持ちをか

小学生の部 最優秀賞



大好きな家族から
学んだこと
弟子屈小学校6年
坂上 愛美さん

みなさんは、家族の人から何か学んだことは、ありますか？私は父と母からとても大切なことを教わりました。それは、「私一人では生きてはいけない」ということです。ある時、父と母に「人の気持ちを分ける人になりなさい」と言われたことがありました。その時の私はなぜそんなことを言われなくちゃいけないのかが全然分かりませんでした。四年生の頃の私は、相手の気持ちを考えず、自分のことばかりを考えていました。ウソをついたとかついてないとか、やらんだとかにらんでいないとか、友だちとケンカばかりしていました。気がついたら自分はひとりぼっちになっていました。「友だちなんていなくてもいいや」と思うようになりました。学校も楽しくなくなり、行きたくないと思うようになり、でも、五年生になったら新しいクラスになる、やっぱり友だちがほしい。楽しく学校に行きたいと思うようになっていきました。

ソは言わない、言い方を気をつける、そして何より相手の気持ちを考えるようにしました。五年生の運動会が終わった頃から、友だちに話しかけられるようになり、友だちから言われるようになった。友だちから言われるようになった。友だちがいっぱいできて、毎日がとても楽しいです。そして、友だちの大切さを感じたのが、五年生の最後に行った学級レクです。担任の先生への感謝の気持ちを伝えようと、クラスのみんなで学級レクを企画しました。でも先生に内緒でレクの準備をしているときに、練習の量が多いと不満が出て、もめたことがありました。学級代表だった私は、このままではいけないと思い、クラスで話し合いをしました。何のための学級レクなのか、みんなが話し合いました。いつも先生からは、目標に向かって頑張ることの大切さを教えられてきました。先生に感謝の気持ちを伝える事が学級レクの目標なんだと、みんなで確認できることができました。学級レク当日、クラスのみんなが、最高のクラスに歌ったときに、私は最高のクラスだと思って思いました。先生はみんなの思いが伝わったのか、みんなの歌を聞いて泣いていました。私一人の力では、あんな素敵なレクを行うことができなかったと思います。みんながいるから、最高のレクを行うことができましたのだと思います。

中学生の部 審査結果(敬称略)

- 最優秀賞「互いに生きる」(川湯中3年 濱岡 日菜)
- 優秀賞「観光客増加への道」(弟子屈中3年 原 朱里)
- 優良賞「ふるさと弟子屈を伝えたい」(弟子屈中3年 坂東 もみじ)
- 奨励賞「できることを」(弟子屈中2年 高橋 志歩)
- 奨励賞「たくさんの人との関わりの中で」(弟子屈中1年 河上 綾花)
- 奨励賞「大切な時間」(弟子屈中2年 古川 出海)
- 奨励賞「守りたいこの町」(弟子屈中1年 西田 愛梨)
- 奨励賞「私の中学校生活」(川湯中1年 佐伯 雛)



少年の主張弟子屈大会

小学生の部 審査結果(敬称略)

- 最優秀賞「大好きな家族から学んだこと」(弟子屈小6年 坂上 愛美)
- 優秀賞「児童会長になったら」(美留和小5年 阿部 宏紀)
- 優良賞「TPPとぼくたちの生活」(和琴小6年 高橋 真人)
- 奨励賞「失敗」(弟子屈小6年 山家 裕樹)
- 奨励賞「もっとお米を食べよう」(昭栄小6年 森内 ひなの)
- 奨励賞「野生生物と生きる」(川湯小6年 戸田 大地)
- 奨励賞「僕の将来の夢」(奥春別小6年 坪井 謙和)



少年の主張弟子屈大会

だから、父と母に、「一人で生きていけない」と思ったら大間違いだ」と言われたとき、今の私がいるのはみんなのおかげだと、心から感謝することができました。私は家族から学んだ多くの事を、これからの自分に絶対生かしていきたいと思っています。そして自分の名前の通り、みんなに愛されて、心の美しい人になりたいと思っています。絶対になりません。そのためには時間がかかるかもしれませんが、みなさん、これからの私を応援して下さい。

せねば人は育たず。生きて、生き生きとした未来を迎えるにはまず人が人に対して信頼をし、期待をして関わっていくことが必要なのではないでしょうか。